



Human Metabolome Technologies, Inc.

2024年6月期 第2四半期決算説明資料

2024年2月

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 (6090)

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

目次

1. 2024年6月期 第2四半期決算報告
2. 2024年6月期 通期連結業績予想
3. 中期経営計画進捗

参考資料

目次

1. 2024年6月期 第2四半期決算報告
2. 2024年6月期 通期連結業績予想
3. 中期経営計画進捗

参考資料

研究開発の推進と継続的な利益成長を目指します

売上・利益拡大

- 高感度網羅解析メニューの拡充・拡販による売上成長
- 機能性素材開発包括支援サービス（ヘルスケア・ソリューションの新事業）の拡販による売上成長
- 生産性向上、適切なコストコントロールの継続

将来の成長に向けた 研究開発投資を継続

- メンタルヘルス関連分野の早期の事業化に向け研究開発を推進
- 機能性素材開発に関連するソリューション開発を推進

先端研究開発支援事業は、アカデミアの売上が減少したもののヘルスケア・ソリューション事業売上が大幅に増加した結果

上期 最高売上を達成

研究開発費の増加等により、営業利益・当期純利益は減少

(単位：百万円)

(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

	2023年6月期 第2四半期	2024年6月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	610	632	22	3.7%
営業利益	84	71	△ 12	△15.1%
経常利益	86	70	△ 16	△18.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	74	71	△ 3	△4.2%
1株当たり当期純利益	12.56	12.02	△ 0.54	△4.3%

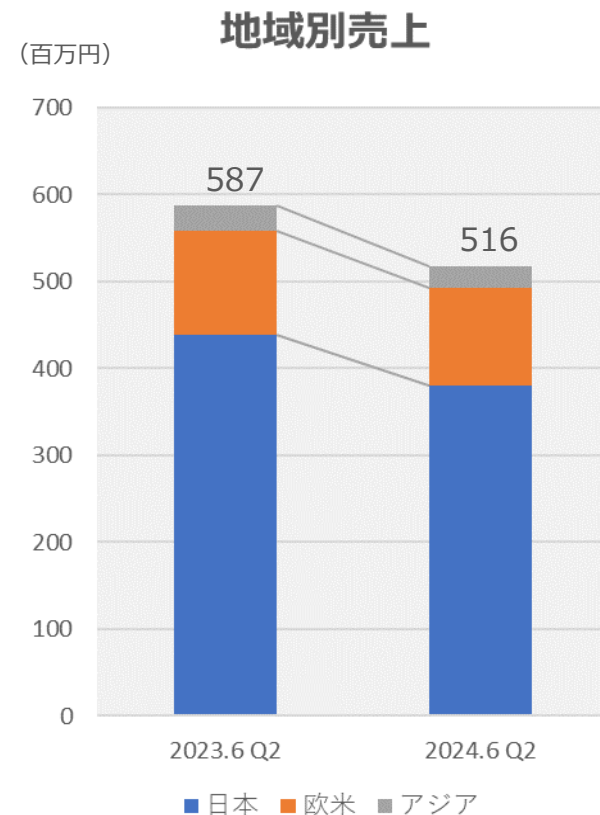
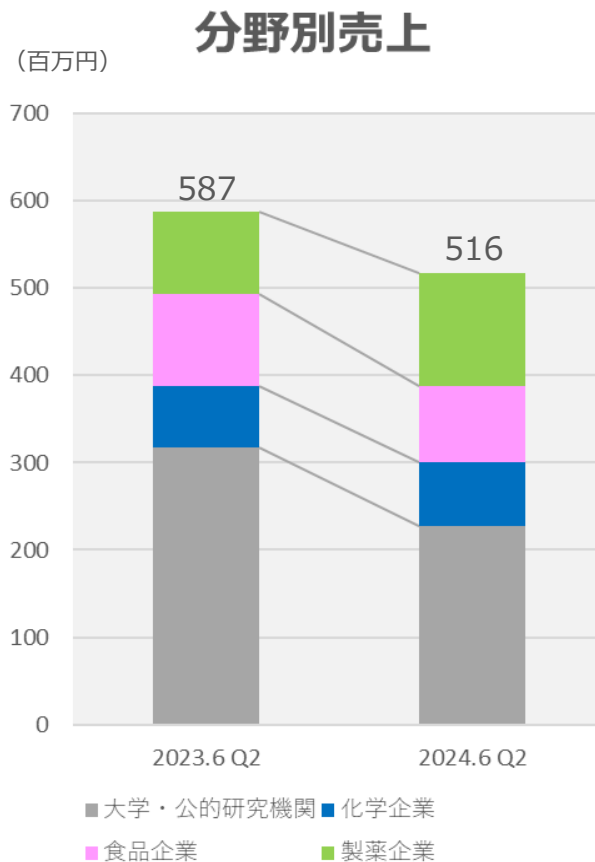
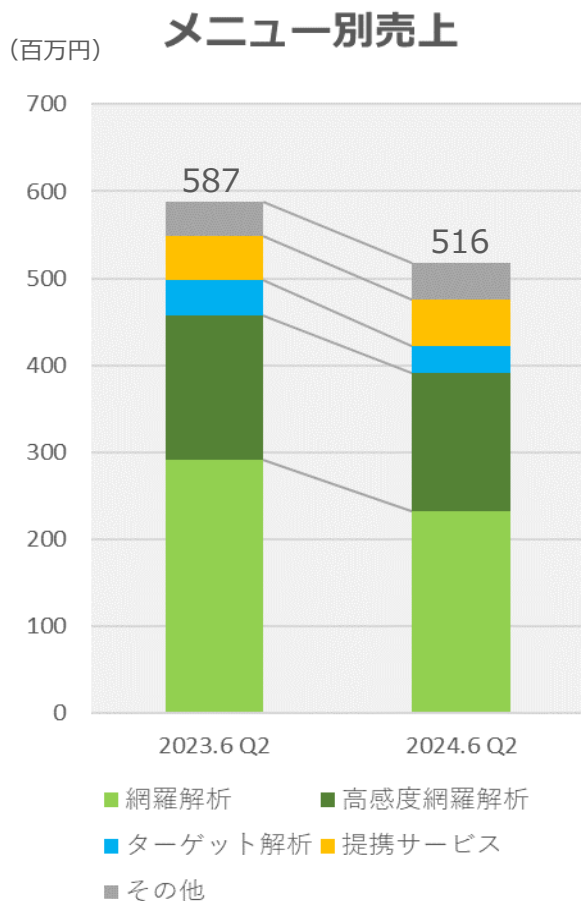
本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

(単位：百万円) (表中の△は損失・百万円未満切捨て)

セグメント売上高	2023.6 2Q	2024.6 2Q	増減額
先端研究開発支援事業	587	516	△ 71
ヘルスケア・ソリューション事業	22	115	93
合計	610	632	22
セグメント費用	2023.6 2Q	2024.6 2Q	増減額
先端研究開発支援事業	434	422	△ 12
ヘルスケア・ソリューション事業	92	138	46
合計	526	561	34
セグメント利益	2023.6 2Q	2024.6 2Q	増減額
先端研究開発支援事業	153	94	△ 59
ヘルスケア・ソリューション事業	△ 69	△ 23	46
合計	84	71	△ 12

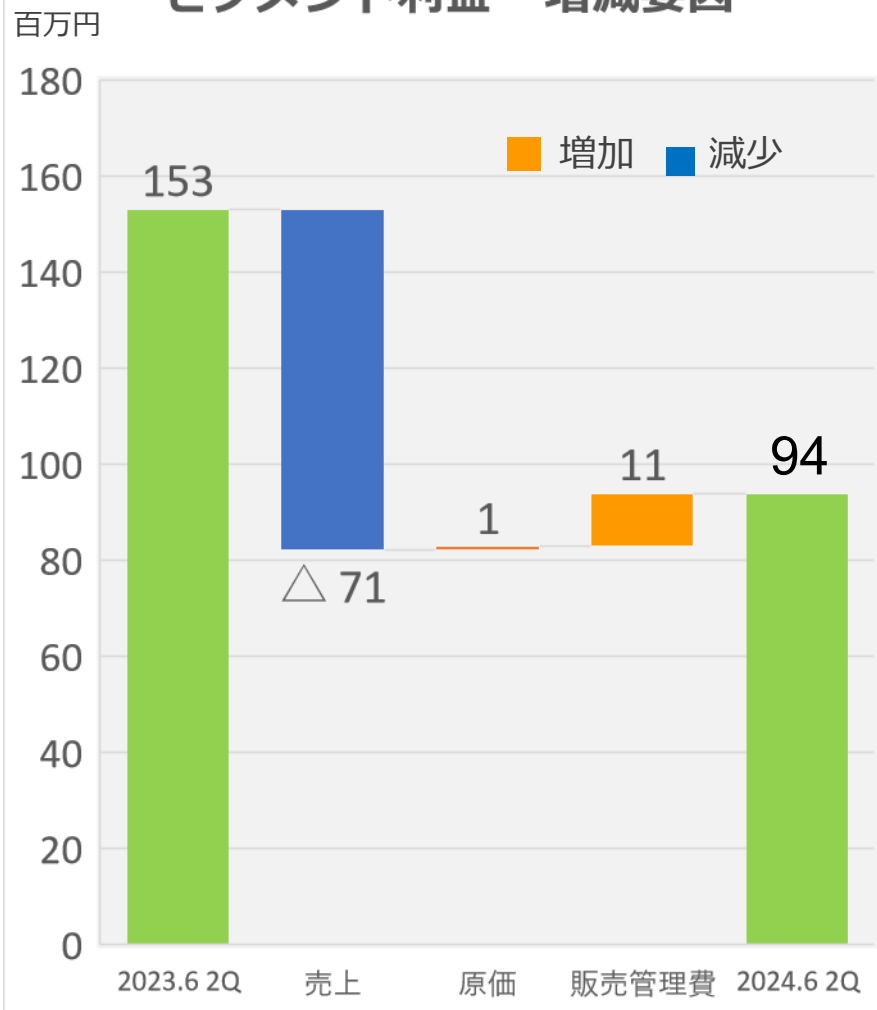
高感度網羅解析
拡販継続

国内外の製薬分野での売上は増加するも、
アカデミア分野の売上が減少



先端研究開発支援事業

セグメント利益 増減要因



セグメント利益 59百万円減少

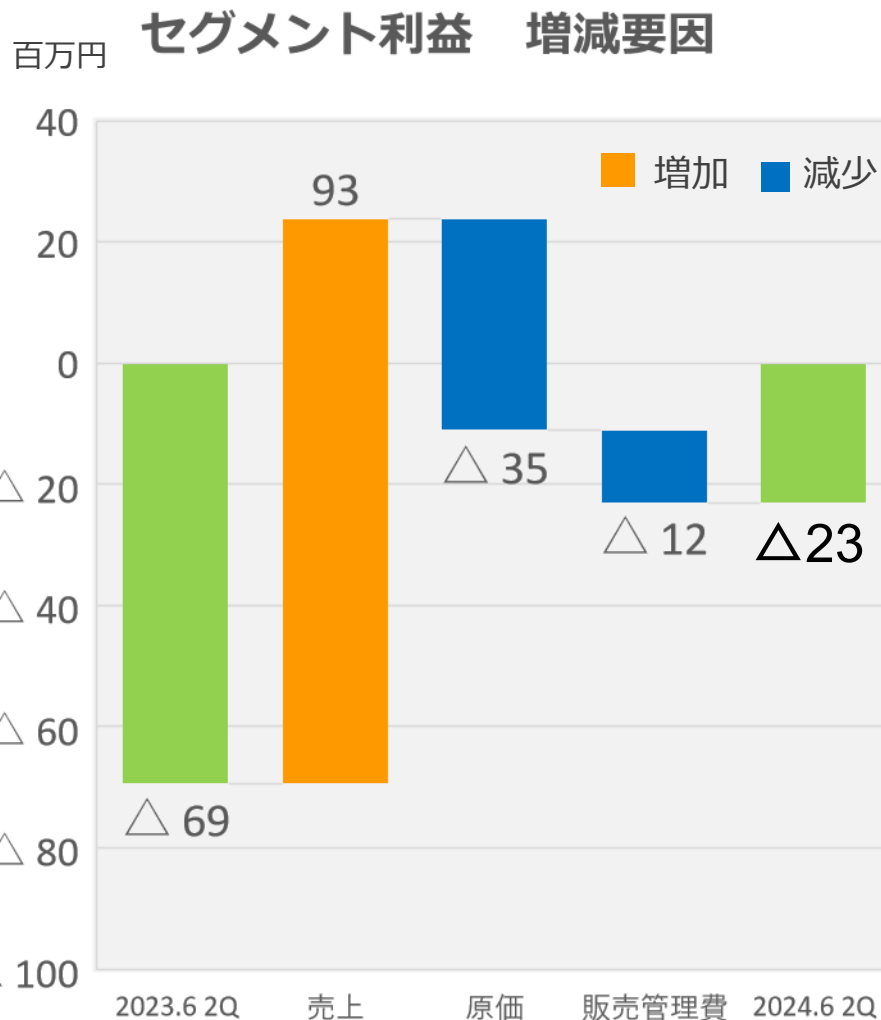
売上減

- 主に国内アカデミアにおいて、前年同期に計上した大型案件と同様の案件の売上が無かったため売上減少
- 欧米は前年並み

原価横ばい

- 売上減少に伴い原価減少したものの、最先端測定設備導入による減価償却費・修繕費など固定費が増加したこと等により、トータルの原価は横ばい

ヘルスケアソリューション事業



セグメント損失 46百万円縮小

売上増

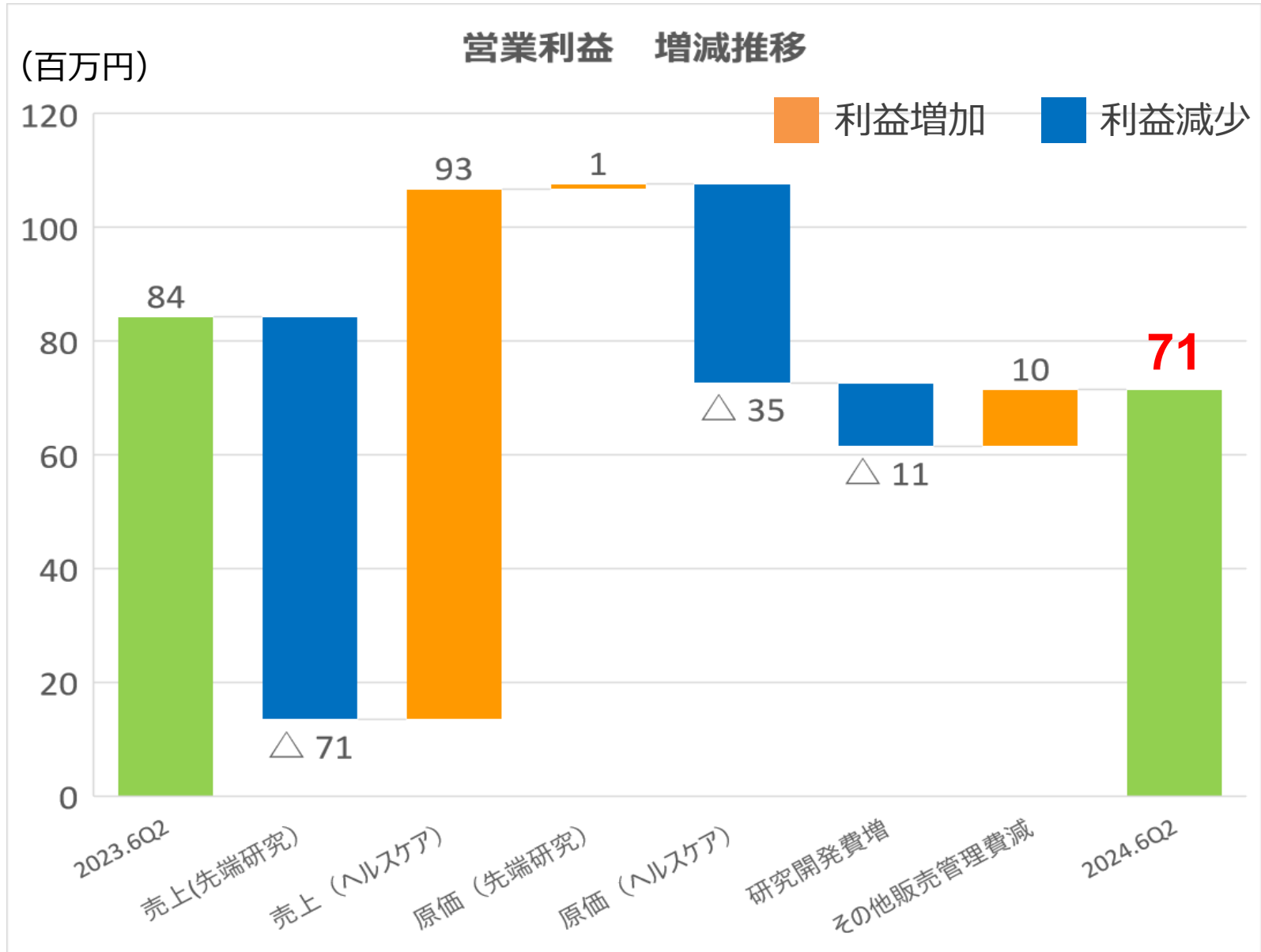
- 大型の機能性素材関連の共同開発案件の受注により売上増加
- 皮膚ガス測定も堅調に推移
- 機能性素材開発包括支援サービスも受注増加

原価増

- 売上増に伴う原価増

販売管理費増

- 将来の成長に向けての研究開発投資を推進



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

目次

1. 2024年6月期 第2四半期決算報告
2. 2024年6月期 通期連結業績予想
3. 中期経営計画進捗

参考資料

当初の公表予想からの修正はございません

➤ **売上、利益ともに拡大**

- ・ 高感度網羅解析メニューの拡充・拡販による売上成長
- ・ 機能性素材開発包括支援サービス（ヘルスケア・ソリューションの新事業）の拡販による売上成長
- ・ 生産性向上、適切なコストコントロールの継続

➤ **将来の成長に向けた研究開発投資を継続**

- ・ メンタルヘルス関連分野の早期の事業化に向け研究開発を推進
- ・ 機能性素材開発に関連するソリューション開発を推進

(単位：百万円)

	2024年6月期	(ご参考) 前期 2023年6月期	差額
	金額	金額	金額
売上高	1,450	1,299	+150
営業利益	260	210	+49
経常利益	280	232	+47
親会社株主に帰属する当期純利益	280	285	△5
一株当たり当期純利益	47円40銭	48円39銭	△0円99銭
一株当たり配当	15円	10円	+5円

目次

1. 2024年6月期 第2四半期決算報告
2. 2024年6月期 通期連結業績予想
3. 中期経営計画進捗

参考資料

基盤となる先端研究開発支援事業の 持続的収益拡大

将来の成長エンジンとなる
ヘルスケア・ソリューション事業の確立・収益化

イノベーションの推進

オペレーショナル・エクセレンスの向上

<キーワード> 免疫強化、メンタルヘルス、Well-being、QOL向上 etc...

- 未病・予防といった健康寿命延伸を目的とした研究開発
- 様々な機能性素材の開発 ■ 健康に寄与するソリューション開発

基礎研究領域

ヘルスケア関連領域

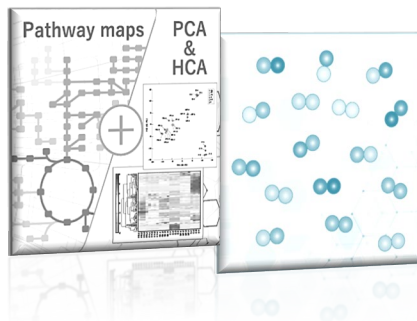
先端研究開発 支援事業

ヘルスケア・ ソリューション事業

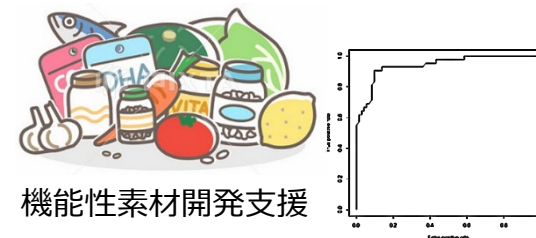
メタボロミクス (+α オミクス) 解析受託サービス

生体分子解析

バイオマーカー開発支援 機能性素材開発支援



- ・メタボロミクス
- ・他オミクス
 - リポミクス
 - miRNA解析
 - プロテオミクス
- etc.
- ・皮膚ガス
- ・エクソソーム
- etc.



情報解析 インフォマティクス

機能性素材開発支援

バイオマーカー開発支援

先端技術の提供を通じて
最先端研究の
ブレークスルーに貢献

ヘルスケア関連企業が抱える
研究課題の解決に貢献
(コンサルティング含む)

2020.6-2023.6 経営基盤整備

- ・売上増加
- ・不採算部門の再編
(欧州・バイオメディカル 子会社)
- ・先端研究開発支援事業 生産性向上
- ・ヘルスケア・ソリューション事業
の立上げ
- ・研究開発の推進、効率的な運用

→ **安定利益確保・財務体
質強化・株主還元開始**

2024.6-2026.6 成長基盤構築

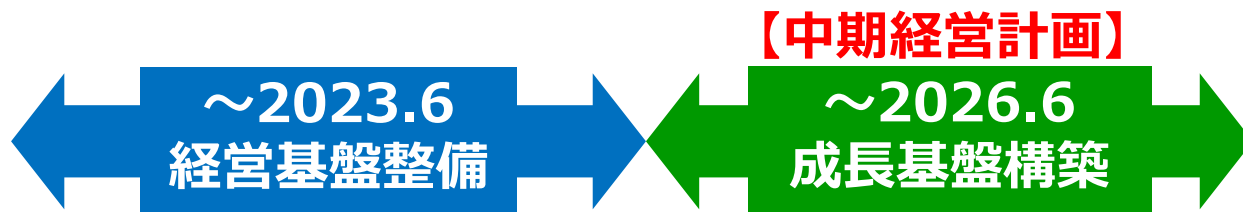
- ・機能性素材開発支援等を中核として
ヘルスケア・ソリューション事業を拡大
- ・研究開発分野を選定し投資を継続
- ・生産性向上のためのデジタル化推進
- ・顧客満足度向上に向けた新メニュー開発

→ **新規事業による利益拡大・
飛躍的成長に向けた
新規分野での研究開発の推進**

Challenge to
Healthcare Value Innovator 25

2026.6以降
企業成長

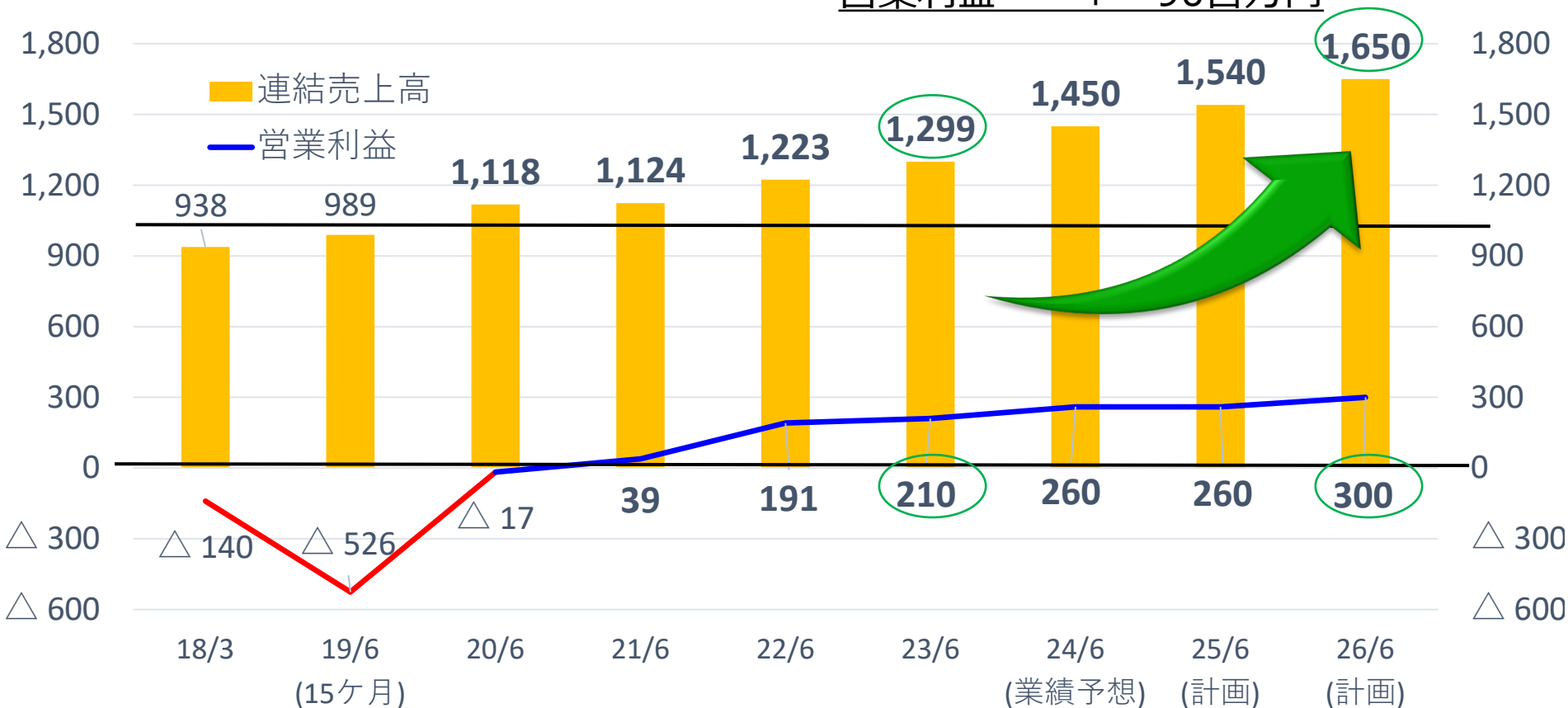
■ 中期経営計画 位置付け（数値計画（売上・営業利益））



【中期経営計画】

連結売上高 + 350百万円
 営業利益 + 90百万円

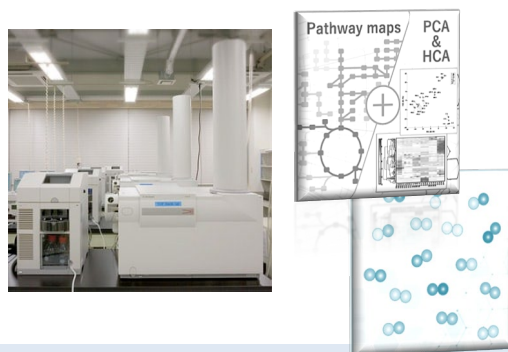
(百万円)



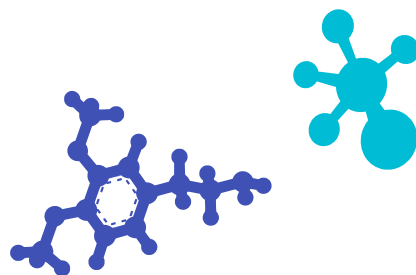
基本戦略： 基盤となる先端研究開発支援事業の持続的収益拡大

解析受託売上成長・顧客満足度向上

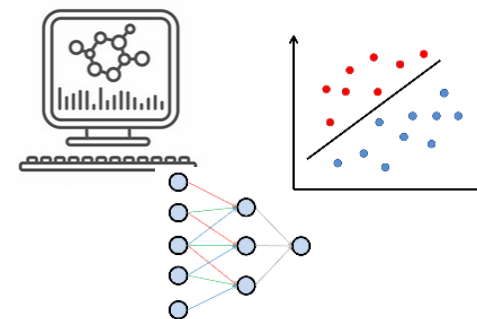
グローバル視点での
新たな
高感度網羅解析技術
の開発



新たな
測定技術の開発
(新分子種など)



+α オミクス
および
インフォマティクス
の活用



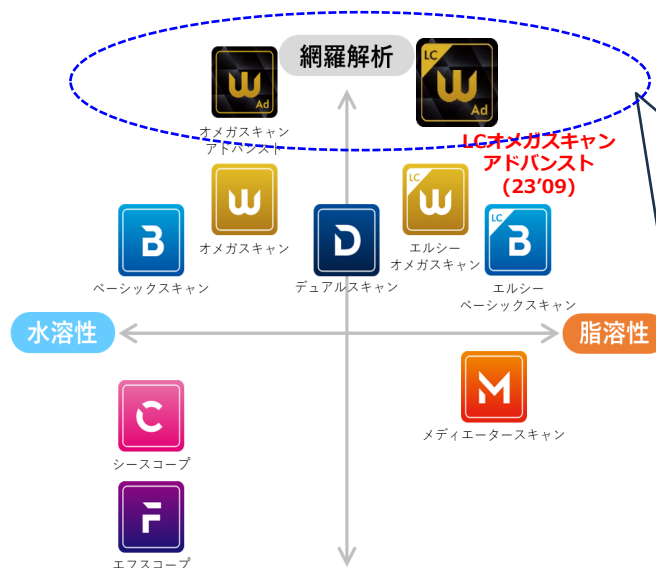
売上 1.5億円増を目指す
2026.6期 14億円（2023.6期 12.5億円）

基本戦略：

基盤となる先端研究開発支援事業の持続的収益拡大

解析受託売上成長・顧客満足度向上

グローバル視点での新たな高感度網羅解析技術の開発



高感度メタボローム解析
プラットフォームの確立

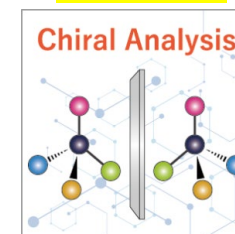
2023年9月
LCオメガスキャン
アドバンストを
リリース

世界トップレベルの
網羅性

水溶性・疎水性代謝物
の
未同定ピークの変動も
網羅的に解析

新たな 測定技術の開発

2023年9月
キラル分析サービスの
提供開始

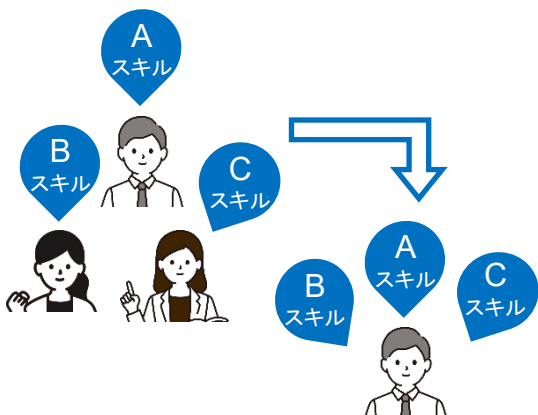


- ・鏡像異性体を持つアミノ酸19種類
のD-体・L-体をそれぞれ解析するオプション
- ・D-体は生体内に極微量しか存在しない

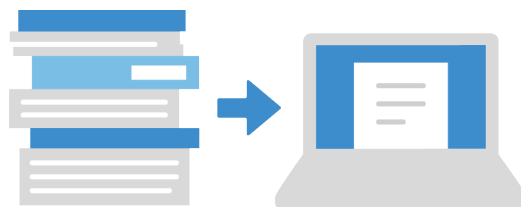
基本戦略： 基盤となる先端研究開発支援事業の持続的収益拡大

オペレーショナル・エクセレンスの更なる進化

マルチスキル化
(多能工化) による
稼働平準化



工程管理デジタル化
(生産管理システム)
による効率化



機械化
(ロボット・AI) の
導入による自動化



製造原価率 (提携サービスの仕入原価除く)
29%未満を目指す (2023.6期 29%)

基本戦略：将来の成長エンジンとなる ヘルスケア・ソリューション事業の確立・収益化

成長ドライバーとしての売上拡大 研究開発の推進

実効性の高い
新規 機能性素材
開発手法の確立

機能性素材開発
包括支援サービス
の展開

効率的な
マーケティングによる

新規市場開拓と
新規顧客獲得

戦略的業務提携

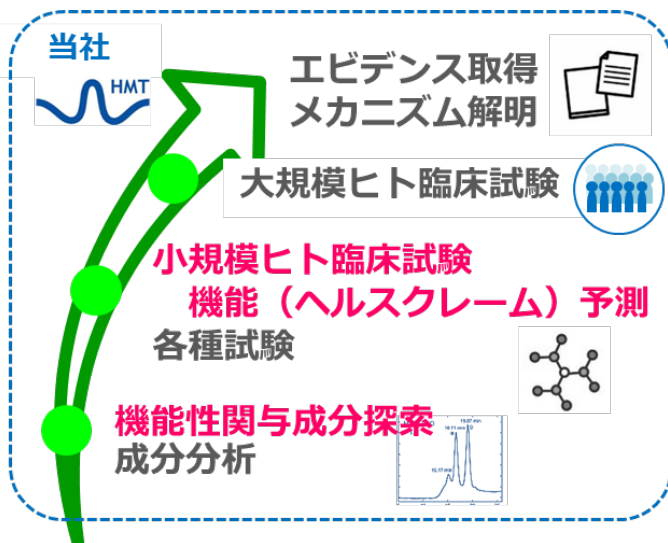
による
事業成長

売上 2億円増を目指す 2026.6期 2.5億円（2023.6期 0.5億円）
セグメント利益（全社共通経費配賦前）黒字化を目指す

基本戦略：将来の成長エンジンとなる ヘルスケア・ソリューション事業の確立・収益化

機能性素材開発包括支援サービス 当社の強みを活かした新事業

実効性の高い 新規 機能性素材開発手法の確立
2023年7月よりサービス展開を開始。拡販を推進中。



食品・食材・植物・
化粧品原料等

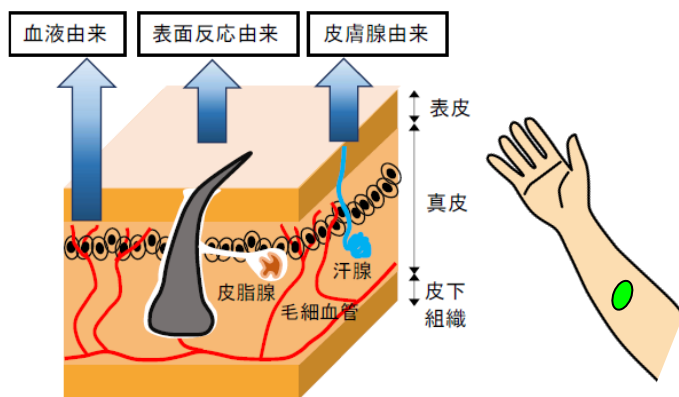


<特徴>

- ・機能性素材開発をワンストップで支援
- ・当社独自パッケージで部分的な支援も可能
 - －機能性関与成分探索パッケージ®
 - －ヘルスクレーム予測パッケージ®

基本戦略：将来の成長エンジンとなる ヘルスケア・ソリューション事業の確立・収益化

皮膚ガス受託測定サービス



皮膚ガス測定
(イメージ図)

皮膚から放散される揮発性の代謝物質が含まれている体のおいとして認知される生体ガス

- **全く痛みが伴わない非侵襲**に生体情報を入手することが可能
- **身体的・生理的状态・疾病の有無・生活環境**等で変化

ヘルスケア領域での利用拡大を目指す

- 2023.6期より提供開始
売上が堅調に推移
- 皮膚ガス研究会主催のセミナーを開催するなど、今後も拡販に注力

基本戦略：将来の成長エンジンとなる ヘルスケア・ソリューション事業の確立・収益化

オートファジー活性評価サービス

AutoPhagyGO との提携



2023年8月より開始 オートファジー活性評価サービス (当社が日本において独占的に提供)

オートファジー活性の誘導状態を調べる

- 疾患との関連の研究
- 創薬への応用研究
- **機能性素材の探索**
食品・化粧品開発への応用



2024年2月
一般社団法人日本オートファジーコンソーシアムによる認証制度スタート
食品におけるオートファジーに関する正しい情報の啓発を目指す

2024年6月期～2026年6月期 成長基盤構築

新規事業による利益拡大・飛躍的成長に向けた
新規分野での研究開発の推進

(単位：百万円)

	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期	2026年6月期
売上高	1,299	1,450	1,540	1,650
営業利益	210	260	260	300
経常利益	232	280	280	300
親会社株主に帰属する 当期純利益	285	280	280	290

参考資料



ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

設立年月日：2003年7月1日

資本金：1,487百万円（2023年12月現在）

取締役（社内）：橋爪 克仁（代表取締役社長）

大畑 恭宏（取締役）

創業者：

富田 勝 慶應義塾大学名誉教授

曾我 朋義 慶應義塾大学教授

主な事業内容：先端研究開発支援事業

ヘルスケア・ソリューション事業

売上高（直近）：1,299百万円

従業員数（連結）：57名（博士：12名）

本社：山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2

東京事務所：東京都中央区新川2-9-6

シュテルン中央ビル5階

子会社：HMTアメリカ アメリカボストン

（2023年6月現在）

- 2001 ● 慶応義塾大学先端生命科学研究所、山形県鶴岡市に開所
- 2003 ● 創業（創業者：慶応義塾大学 富田氏、曾我氏）
- 2012 ● Human Metabolome Technologies America Inc. 設立
- 2013 ● 上場（東証マザーズ（現グロース市場）：6090）
- 2023 ● 創業20周年

(百万円)

